

インターナショナルスクールオブ長野小学部の開校後の状況について

県民文化部県民の学び支援課

概要

- 1 名称 インターナショナルスクールオブ長野小学部
校長 栗林 梨恵
- 2 位置 松本市五常 6387 番地 1
- 3 設置者 学校法人インターナショナルスクールオブ長野
理事長 栗林 梨恵
- 4 学則定員 150 人
- 5 開校年月日 令和 4 年 4 月 1 日

1 児童数の状況

(単位：人)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	申請時の見込み	定員
R4									
R5									
うち新入生									
(応募者数)									
県外出身者									

- ・今年度は保護者の転勤や、学校への通学距離などを理由とした年度中途の転出者が想定より多かった。
- ・今後は、SNS 等の活用による広報活動をより強化し児童数の確保に努めたい。海外を含め移住を見据えた問合せが増えているため、ターゲットをより明確にした上で広報活動を進めていく。

2 教職員の状況

(単位：人)

		校長	教頭	教諭	助教諭	講師	養護教諭	助手	事務職員	バス運転手	合計
計 画	計	1	1	8	6	0	2	1	6	0	25
	専任	1	1	7	6	0	1	0	4	0	20
	兼任	0	0	1	0	0	1	1	2	0	5
R 5	計	1	1	2	4	7	1	1	6	2	25
	専任	1	1	2	4	6	1	1	3	2	21
	兼任	0	0	0	0	1	0	0	3	0	4
差	計	0	0	▲6	▲2	7	▲1	0	0	2	0
	専任	0	0	▲5	▲2	6	0	1	▲1	2	1
	兼任	0	0	▲1	0	1	▲1	▲1	1	0	▲1

- ・専任教諭が申請時の計画より少なくなっているのは、申請時にパートタイムの教諭を講師とすべきところを誤って教諭として申請したため。
- ・特徴である英語学習を進めるために、教員免許を所持している優秀な外国人教員の確保が課題である。採用に至らなかった応募者と連絡を継続するなどして人材確保に努めたい。

3 教育の特徴等

- ・国際バカロレア認定校として、プライマリー・イヤーズ・プログラムと学習指導要領に基づいた教育を実践。
- ・インターナショナルスクールとして、外国人教員により日常的に英語を使った環境で授業が行われている。
- ・ハウスシステムという全校を4つのグループに分けて協力して活動するシステムと、3年生以上の児童による月に1回程度クラブミーティング（委員会活動）の実施により、学年を超えた異年齢の交流やリーダーシップを育てる活動としている。
- ・地域の公立学校や地元のペタンクチームとの交流は今年度複数回実施しており、交流を通して子どもたちの視野を広げ、コミュニケーション力の向上や学習活動への動機付けとなっている。
- ・地元の公民館活動への講師派遣について依頼があり、今後は地域貢献活動も行っていく予定。

4 収支決算

(単位：千円)

		収入 A	支出 B	当年度収支差額 C = A - B
令和4年度	申請時の 計 画			
	決 算			